

みずほCustomer Desk Report 2022/06/30号(As of 2022/06/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.09
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	136.05	1.0522	143.20	1.2195	0.6903
SYD-NY High	137.00	1.0535	143.86	1.2212	0.6920
SYD-NY Low	135.78	1.0435	142.50	1.2106	0.6862
NY 5:00 PM	136.60	1.0443	142.66	1.2125	0.6880

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,029.31	82.32	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,177.89	▲ 3.65	日本10年債	0.2300%	0.0000%
S&P	3,818.83	▲ 2.72	米国2年債	3.0406%	▲0.0700%
日経平均	26,804.60	▲ 244.87	米国5年債	3.1387%	▲0.0952%
TOPIX	1,893.57	▲ 13.81	米国10年債	3.0864%	▲0.0899%
シカゴ日経先物	26,760.00	▲ 40.00	独10年債	1.5005%	▲0.1310%
ロンドンFT	7,312.32	▲ 11.09	英10年債	2.3780%	▲0.0860%
DAX	13,003.35	▲ 228.47	豪10年債	3.7760%	0.0390%
ハンセン指数	21,996.89	▲ 422.08	USDJPY 1M Vol	13.27%	0.95%
上海総合	3,361.52	▲ 47.69	USDJPY 3M Vol	12.71%	0.82%
NY金	1,817.50	▲ 3.70	USDJPY 6M Vol	12.15%	0.64%
WTI	109.78	▲ 1.98	USDJPY 1M 25RR	▲1.36%	Yen Call Over
CRB指数	299.34	▲ 1.66	EURJPY 3M Vol	12.95%	0.68%
ドルインデックス	105.11	0.60	EURJPY 6M Vol	12.50%	0.55%

東京	東京時間のドル円は136.05レベルでオープン。仲値にかけて実需のドル売りフローが見られ、ドル円は135.90円台まで下落したもののその水準では売りは一服。米長期金利が下げ止まったこともあり、ドル円は136.28まで上昇した。ただし米長期金利が再度低下したこととドル円は135.79まで下落し、135.90レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は135.90レベルでオープンし、押し目買いで上昇。ロンドン8時前後で135.78まで売られた後はドル買いが優勢となり、一時136.59まで上値を切り上げた。136.49レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円近辺でのみ合い後、早朝には米金利の持ち直しを手がかりに136.59まで買われ、136.49レベルでNYオープン。朝方はシントラで開催されているECBの年次フォーラムでパウエルFRB議長やラガルドECB総裁が参加予定の講演を控える中、136.50近辺で様子見ムード。注目の講演でパウエルは「軟着陸は可能だがかなり厳しい」、「米経済は金融引き締めにより十分対応できる」などと述べており、特段サプライズとなるような発言は見当たらなかったが、日米金融政策の方向性の違いが意識されやすかったためかドル円は買いが強まった。対ユーロのドル買いも波及したことから約24年ぶりの水準となる137.00をつける。しかし、137円をつけて達成感が出たためか、また米金利が低下していたことから次第に売り優勢となり、136.35まで反落。午後は目先の材料出尽くしから136.50近辺で小動き。終盤に小幅上昇後、136.60レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台半ばでスタート。欧州時間ではユーロ売りが1.0486まで進行するが、その後、スペインの6月CPIが予想を大幅に上振れ、ユーロ圏のインフレ懸念が台頭すると1.0535まで買い戻され、1.0522レベルでNYオープン。朝方は先述の講演でラガルド総裁の発言が注目される中、特段利上げペース加速の手掛かりは得られず、ユーロ売りが先行し、1.0500レベルを割り込んだ後も下値模索の展開が続く。終盤には1.0435をつけ、1.0443レベルでクロス。

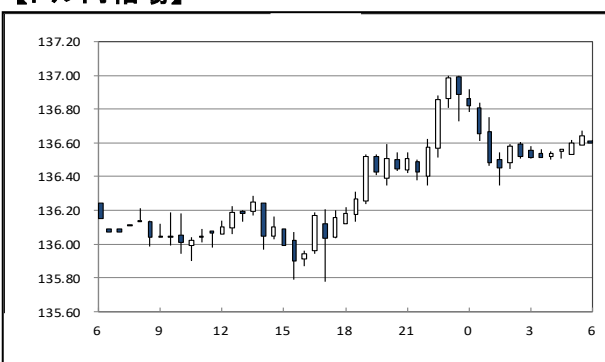
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月29日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	5月 0.9%	0.4%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	6月 -23.6	-
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/7.6%	0.4%/7.9%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q -1.6%	-1.5%
	21:30	米 個人消費	1Q 1.8%	3.1%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	1Q 5.2%	5.1%
	22:05	米 パウエルFRB議長	「米経済は金融引き締めにより十分対応できる」	

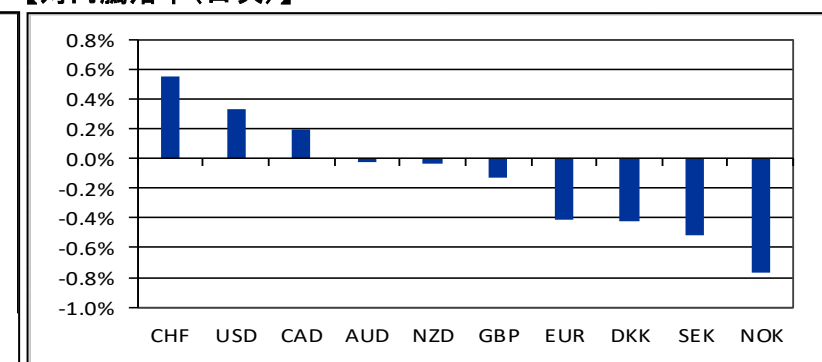
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月30日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 -0.3%/4.2%	-1.5%/-4.9%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)	6月 0.7%/5.7%	0.7%/5.2%
	15:45	仏 PPI(前月比/前年比)	5月 -/-	0.0%/27.8%
	18:00	欧 失業率	5月 6.8%	6.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	25-Jun 229K	229K
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.7%/6.4%	0.2%/6.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-137.20	1.0420-1.0520	142.00-143.20

【マーケット・インプレッション】

前日のドル円は海外時間に約24年ぶりとなる137.00まで急伸した。東京時間は135.79を下値に136円近辺での狭いレンジで推移し、135.90レベルで海外時間へ。米長期金利の持ち直しと、パウエルFRB議長の「米経済は金融引き締めにより十分対応できる」などの発言にドル買いが加速し、137.00まで上伸。一方、米長期金利は低下に転じており、ドル円も137円達成感から136.35まで反落。その後は底堅く推移し、136.60レベルでクロスした。 本日のドル円は堅調推移を予想。前日の海外時間におけるドル買い優勢の流れが継続すると見る。また、米新規失業保険申請件数や、PCEデフレーター等の経済指標の結果にも、米景気動向を見極める観点から注目しておきたい。市場予想を上回る結果となれば、更なるドル円上昇圧力となるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・西